



大方地域では初めての徒歩によるパレード(商工会前)

消防団が出初式を行いました

1月6日、恒例の消防団出初式が行われました。
消防団員のほか、女性消防隊、消防署員など関係者約300人が佐賀総合支所前のグラウンドに会し、表彰式などの式典を行った後、町内のパレードへ出発。今回は、昨年と場所を変えて、伊与木川の堤防(馬地橋付近)で一斉放水を行い、その後、大方地域へ移動、入野地区で徒歩と車両によるパレードを行いました。
火災はもとより、災害の少ない1年であることを願いつつ、地域の安全・安心を支える消防団の皆さんが今年も活動を始めました。消防団の活動に対する町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

土佐くろしお鉄道イベント 八野駅前で砂像制作



砂像は1月上旬まで設置されました

12月23日、入野駅前で砂像制作が行われました。
これは、土佐くろしお鉄道利用促進事業のひとつで、日本砂像連盟黒潮支部のメンバーを中心に、年末の町内帰省者や観光などで駅周辺を訪れた方に砂像を楽しんでもらうと、毎年実施されているものです。
今年は、大方高校や地域住民、町外からの参加者も加わり大型砂像を2体、小型砂像3体を2日ばかりで制作。初めて砂像づくりをした参加者からは「こんなふう長い時間砂に触れることは何年ぶりだろうか。たまにはいいもんですね」と達成感に満たされていました。

第5回子ども広場 「ミニ門松を作ったよ！」



親子でいっしょに考えながら協力しあう日にもなったようです

12月26日、教育委員会が第5回子ども広場を行いました。
今回は、町内の生駒進さん、黒田熊市さん、山本光男さんを講師に招き、昔ながらの門松づくりを習いながら、伝統文化の継承を図ろうと毎年恒例の「ミニ門松づくり」を総合センターで実施。参加した小学生や保護者ら30人が、手づくりのミニ門松を制作しました。
難しい作業も多くありましたが、助けを借りながらひとつひとつの作業に取り組み姿は真剣そのものでした。子どもたちからは「お正月に飾るのが楽しみ」「去年手伝ってもらった作業が今年はひとりでできて嬉しかった」と満足した声が上がっていました。

鞭地区 資源保全クラブ 南郷小学校と環境への取組み



看板は1月24日に鞭地区内に設置されました

鞭地区のハウス園芸農家、水田耕作者により組織される資源保全クラブ(秋田耕作代表)が、地元の南郷小学校と協同し環境への取り組みとして看板12枚の制作を行い、12月17日に南郷小学校で看板制作のお礼にと児童全員へ記念品の贈呈がされました。
資源保全クラブは、農地・水・環境保全向上対策事業の一環として、休耕地への植栽や、水路の清掃、ゴミ拾いなどを行っており、地権者だけではなく、地元の人々(婦人会・はまゆう老人クラブ・子ども会・消防団など)や南郷小学校と連携し、地域全体で資源を守る意識を高めようと活動を広げています。

黒潮町グラウンドゴルフ愛好会 が社会福祉協議会に寄付



町内のグラウンドゴルフ愛好会(中山次男代表)が12月13日、社会福祉協議会酒井隆昌会長へ寄付金を手渡しました。
寄付金は、同愛好会が週3回行う練習などでのホールインワン基金(1回につき200円)を積み立てたもので、今年初めての贈呈。中山代表から「グラウンドゴルフを続けることでみんなの健康増進にもつながっており、これからも町内にある施設を有効に活用させていただき、愛好家仲間を増やしていきたいと思っています。寄付金は、社会福祉協議会の福祉活動に役立てたいです」と話してくれました。